



## 社会に対する コミットメント

### ■「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」のリーダーシップ宣言

リコーは、2008年5月にドイツで開かれた生物多様性条約第9回締約国会議で「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」\*1のリーダーシップ宣言に署名し、事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その保全に努めることを約束しました。 \*1 <http://www.business-and-biodiversity.de/en/homepage.html> (英語)

### ■国連グローバル・コンパクト

リコーは2002年4月、国連グローバル・コンパクト(GC)\*2に日本企業として2番目に署名しました。また2007年6月にはGCの「気候に配慮するビジネスリーダー綱領」\*3に賛同し、署名しています。

\*2 1999年1月にコフィー・アナン国連事務総長(当時)が提唱。人権、労働、環境、腐敗防止の4分野にわたる10の原則から構成される。  
(<http://www.unic.or.jp/globalcomp/organiz.htm>)

\*3 [http://www.unglobalcompact.org/Issues/Environment/Climate\\_Change/index.html](http://www.unglobalcompact.org/Issues/Environment/Climate_Change/index.html) (英語)

### ■気候変動に関するコペンハーゲン声明

2009年9月、リコーは、気候変動防止に対する枠組みの早期確立と地球の気温上昇を前工業レベルから2℃未満に制限することを求める「コペンハーゲン声明(Copenhagen Communique)\*4」に賛同を表明しました。この声明は、英国チャールズ皇太子を責任者とし、ケンブリッジ大学を母体とする「Corporate Leaders' Group on Climate Change」によって提案されたもので、以下の提案を掲げています。



- ・先進国は世界平均をはるかに上回るような排出量削減をし、途上国に対して必要な財政的・技術的援助を与える。
- ・途上国は責任および能力に応じて自国の排出量削減計画を作成し、資金援助、技術移転と能力開発を得るべき。
- ・新興国は2020年までに経済全般にわたって適切に活動することにより、低炭素成長を目指すべき。

\*4 <http://www.copenhagencommunique.com/> (英語)

※「リコー、気候変動に関するコペンハーゲン声明への賛同を表明」  
<http://www.ricoh.co.jp/info/090921.html>

### ■企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)

2008年4月1日、生物多様性の保全を目指して積極的に行動する企業の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ」(JBIB)\*5が発足しました。リコーは、発起人企業の一員として、設立当初から参加しています。 \*5 <http://www.jbib.org/>

### ■日本気候リーダーズパートナーシップ(Japan-CLP)

2009年7月、リコーは、「日本気候リーダーズパートナーシップ(Japan-CLP)」の設立メンバー企業として参加を表明しました。 [65ページ](#)

## 社会からの 評価

■日本経済新聞社 環境経営度調査 第1位 ・第2回(1998年) ・第3回(1999年) ・第4回(2000年) ・第8回(2004年)

### ■ドイツのエコム社による「企業の社会的責任」格付けにて世界第1位

・1998年(電気・電子産業部門) ・2000年(IT/Electronics部門) ・2002年(OA機器・家電部門) ・2005年(IT部門)

### ■第12回 地球環境大賞 大賞受賞

2003年

### ■WEC(World Environment Center) ゴールドメダル受賞

2003年(アジアの企業として初の受賞)

### ■トーマツ審査評価機構による環境格付けにて、最高ランクのAAAに評価される

2005年~2008年(4年連続)

### ■Global 100: 世界で最も持続可能な100社に選ばれる

2005年~2010年(6年連続)

### ■第5回 日本環境経営大賞 環境経営パール大賞(最高賞)受賞

2007年

### SRIインデックスへの組み入れ

日本においてリコー株式会社は多くのエコファンド、SRIファンドに組み入れられ、運用されており、モーニングスター社会的責任投資株価指数にも2003年の創設時以来組み入れられています。また英国フィナンシャルタイムズ社とロンドン証券取引所の合併会社FTSEグループによるFTSE4Goodグローバル・インデックスに7年連続で組み入れられました。

[組み入れ状況は2010年5月1日現在]

